

# ICTハーベスタの3つの機能

## ①材価が最も高くなる採材

トータルで材の価格が最も高くなる採材プランを自動的に算出し、オペレータに提案する機能があります。(バリューバック機能)

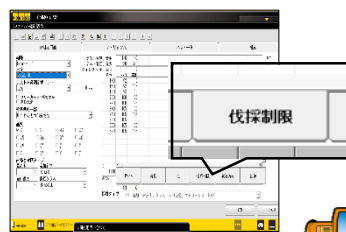


採材提案  
(長さ・太さ)

自動的に送材される！オペレータは品質をチェックして切断するだけ！

## ②需要に応じた生産

需要に応じた生産指示(長さ、直径、本数など)に基づき、自動で長さ・直径・用途などを制限する機能があります。(リミテーション機能)



設定画面 (キャビン内)



## ③自動色付け機能で桧(はい)や丸太の管理

材の用途や等級などに応じて、切断部位に自動で色付けする機能があります(カラーマーキング機能)。丸太1本ごとの色の情報はデータに反映されます。



赤,青,赤青,無色の4種類



通常のハーベスタのPCを更新し、電子キャリパーやカラーグレー装置を増設することで、上記のICT機能を使えるようになります場合があります。

## オペレータ育成研修のご案内

道では、ハーベスタオペレータを対象として、シミュレータを使用したICTハーベスタ活用研修を個別に実施しています。ご希望の場合は水産林務部成長産業課までご連絡ください。(TEL: 011-204-5502)



## SCM (サプライチェーンマネジメント) システムとは?

伐採→搬出→加工→販売までの一連の流れを「データで可視化・連携して効率よく木材を供給・管理する」ためのデータ共有システムです。

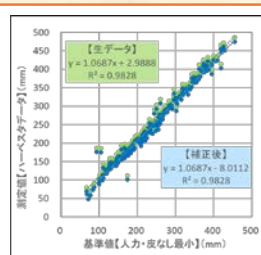


道では、産学官金の関係者と連携し、ICTハーベスタやSCMシステムによる様々な省力化・効率化の検証を行ってきました。詳細は右のQRコードから、北海道庁成長産業課HPをご覧ください。→→



成長産業課HP

## 精度検証結果

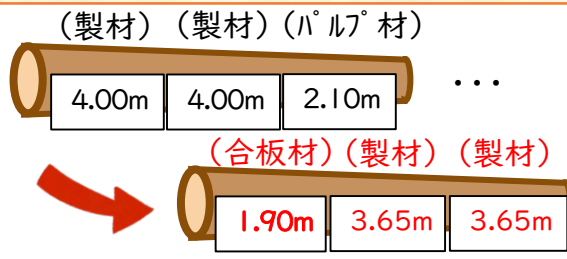


長さ精度：  
**99.9%※**  
径級精度：  
**平均103.0%※**

丸太の形により差はあるが、針葉樹では、全体で見ると**高精度**

※: 人力検知との比較

## 収益性向上



単価の高い材の採材率が向上し**収益性向上 (450円/m<sup>3</sup>UP)**

## 人力検知の省略



丸太検知の**人件費44万円/年削減**

## 伝票のデジタル化



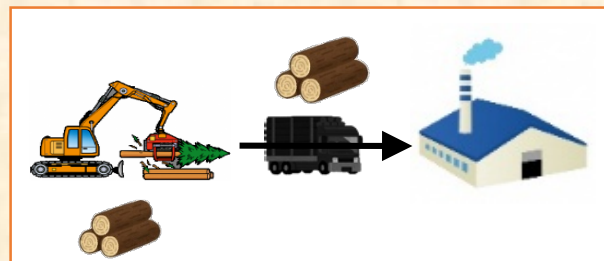
SCMシステムを使うと、ボタンひとつで電子伝票の出力が可能

## 伐採・運搬状況の見える化



SCMシステムの活用で、**伐採の進捗・出材予測・運搬状況**が、オフィスにしながらリアルタイムで把握可能

## リードタイム短縮



生産中に**随時運搬**が可能になり、  
★**生産～運搬が約1ヶ月短縮**  
★**精算時期が短縮→早期入金**  
★**搬出に付随する作業も軽減**